

日本脳炎の予防接種に関する現状について

1. ワクチン出荷量(平成21年度～24年度見込み).....	1
2. 予防接種率・被接種者数(平成12年度～22年度)	2
3. 副反応報告頻度(平成12年度～24年10月)	3
4. 副反応報告の状況(平成6～23年度(暫定))	
4-1. 平成6年度～16年度	4
4-2. 平成17年度～23年度(暫定)	5
5. 薬事法に基づく、副作用報告状況	6
6. 脳炎脳症の発生頻度	7
7. 副反応報告に基づく脳炎脳症の報告症例	
7-1. 平成21年度、22年度	8
7-2. 平成23年度	9
7-3. 平成24年度	10
8. 薬事法に基づく脳炎・脳症・急性散在性脳脊髄炎(ADEM)の報告症例 (副反応報告のあった症例を除く)	11
9. 新ワクチンでのADEM発生頻度(平成21年6月～平成24年9月)	12

1. ワクチン出荷量（平成21年度～24年度(見込み)）

0.5mL換算(単位:本)

	ワクチン名	ワクチンメーカー	21年度	22年度	23年度	24年度見込み
乾燥細胞培養 日本脳炎ワクチン	ジェービックV	阪大微研	2,871,318	4,974,903	5,089,597	5,245,000
	エンセバック 皮下注用	化血研	0	137,612	1,478,587	1,650,000
合計			2,871,318	5,112,515	6,568,184	6,895,000

(財)阪大微研及び(財)化血研提供資料に基づき作成

2. 予防接種率・被接種者数(平成12年度～22年度)

(予防接種率)

(単位:%)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1期初回(1回)	84.9	90.6	91.9	92.6	83.0	22.1	4.0	13.7	22.1	61.2	171.6
1期初回(2回)	81.2	86.5	88.6	89.6	81.1	16.7	3.6	13.3	21.7	54.6	161.9
1期追加	69.8	72.9	73.6	75.3	70.8	15.6	3.3	6.9	11.3	16.0	48.5
2期	65.0	67.9	69.3	67.6	65.6	15.8	1.4	3.9	7.0	10.6	23.7
3期	48.3	50.5	51.3	51.5	48.4	11.1	—	—	—	—	—

※対象者は総務省人口推計による対象年齢人口、被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

(被接種者数(回))

(単位:万人)

年度(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1期初回(1回)	101	103.9	103.3	108.1	97	25.4	4.5	15	23.2	65.6	183.9
1期初回(2回)	96.5	99.3	99.6	104.5	94.8	19.2	4.1	14.5	22.8	58.5	173.5
1期追加	82.7	83.5	84.7	88.2	82.5	18.2	3.8	7.7	12.3	16.7	51.6
1期 合計	280.2	286.7	287.6	300.8	274.3	62.8	12.4	37.2	58.3	140.8	409
2期	78.6	78.7	79	81.8	78.9	18.7	1.7	4.6	8.2	11.8	27.6
3期	66.5	65.3	64.5	65.0	59.9	13.4	—	—	—	—	—
合計	425.3	430.7	431.1	447.6	413.1	94.9	14.1	41.8	66.5	152.6	436.6

※平成12年度から22年度の被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

3. 副反応報告頻度(平成12年度～23年度(暫定))

	副反応報告数(件)	被接種者数(回)	頻度(10万接種あたり)
平成12年度	82	4,253,391	1.9
平成13年度	63	4,307,583	1.5
平成14年度	62	4,311,446	1.4
平成15年度	92	4,476,121	2.1
平成16年度	77	4,132,470	1.9
平成17年度	24	950,060	2.5
平成18年度	3	141,421	2.1
平成19年度	7	418,812	1.7
平成20年度	11	666,631	1.7
平成21年度	31	1,526,771	2.0
平成22年度	148	4,367,716	3.4
平成23年度(暫定)	146	5,611,321	2.6

※1)副反応報告数は、平成17年1月27日付健康局長通知「定期の予防接種の実施について」に基づく副反応報告により計上

※2)平成12年度から平成22年度までの被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上

※3)平成23年度(暫定)の被接種者数(回)は、平成22年度の出荷量と被接種者数の比を用いて出荷量から計算した数値

注)副反応報告書は、予防接種との因果関係の有無に関係なく予防接種後に健康状況の変化をきたした症例を集計したものであり、これらの症例の中には、予防接種によって引き起こされた反応だけでなく、予防接種との関連性が考えられない偶発事象等も含まれている。集計に当たっては、予防接種との因果関係がないと思われるもの、もしくは、報告基準の範囲外の報告等についても排除せず、単純計算としてまとめている。

4-1. 副反応報告の状況(平成6年度～23年度(暫定))

	アナフィ ラキシー	全身 蕁麻疹	脳炎 脳症	痙攣	運動 障害	その他 神経 障害	局所異 常腫脹	全身 発疹	39℃以 上発熱	異常 反応	その他	総数 (件)	総数 (人)	(うち 死亡例)
平成6年度	5	—	2	2	1	2	3	8	15	1	16	55	—	0
平成7年度	1	0	2	2	0	0	0	2	0	1	6	14	—	0
平成8年度	14	9	0	1	1	0	2	4	29	8	22	90	85	0
平成9年度	17	22	4	3	0	3	2	0	23	0	32	106	106	1
平成10年度	24	16	5	0	1	0	2	5	12	7	31	103	84	1
平成11年度	13	16	4	6	0	4	1	0	10	3	24	81	71	0
平成12年度	13	13	2	6	0	1	0	6	15	9	17	82	72	2
平成13年度	11	14	0	2	0	1	1	2	12	12	8	63	63	0
平成14年度	13	11	0	6	0	5	1	6	7	8	5	62	55	0
平成15年度	7	15	8	10	0	4	0	6	19	9	14	92	80	0
平成16年度	7	11	5	7	0	5	0	5	19	7	11	77	60	0

各年度の予防接種後副反応報告書集計報告書

※1)平成6年度の報告数は平成6年10月1日から平成7年9月30日に報告された数

※2)平成7年度の報告数は平成7年10月1日から平成8年3月31日に報告された数

4-2. 副反応報告の状況(平成6年度～23年度(暫定))

	アナフィラキシー	全身蕁麻疹	脳炎脳症	痙攣	運動障害	その他神経障害	局所異常腫脹	全身発疹	39℃以上発熱	異常反応	その他	総数(件)	総数(人)	(うち死亡例)
平成17年度	1	1	2	1	0	2	0	1	7	1	8	24	19	0
平成18年度	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	3	0
平成19年度	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	3	7	7	0
平成20年度	0	1	3	0	0	1	0	2	0	2	2	11	9	0
平成21年度	1	2	1	1	0	2	0	3	11	3	7	31	28	0
平成22年度	1	5	3	12	3	4	0	9	70	0	41	148	109	0
平成23年度(暫定)	2	6	9	13	2	5	0	11	59	26	13	146	123	0

各年度の予防接種後副反応報告書集計報告書

※1)平成22年度は、「脳炎脳症」欄にマウス脳による製法の日本脳炎ワクチンによる副反応報告が1件含まれている。

※2)平成23年度は、現在評価中であり、暫定値である。

注)副反応報告書は、予防接種との因果関係の有無に関係なく予防接種後に健康状況の変化をきたした症例を集計したものであり、これらの症例の中には、予防接種によって引き起こされた反応だけでなく、予防接種との関連性が考えられない偶発事象等も含まれている。集計に当たっては、予防接種との因果関係がないと思われるもの、もしくは、報告基準の範囲外の報告等についても排除せず、単純計算としてまとめている。

5. 薬事法に基づく、新ワクチンの副作用報告状況

平成21年6月2日～平成24年10月29日までに報告された副作用症例の副作用種類別報告件数は以下の通り。

副作用器官別大分類 (soc)	副作用名	件数	副作用器官別大分類 (soc)	副作用名	件数	副作用器官別大分類 (soc)	副作用名	件数
胃腸障害			血管障害			腎および尿路障害		
	悪心	1		ショック	3		ネフローゼ症候群	1
	嘔吐	14		神経原性ショック	1		乏尿	1
一般・全身障害および投与部位の状態				川崎病	2	精神障害		
	高熱	1	呼吸器、胸郭および縦隔障害				異常行動	1
	状態悪化	1		咽頭紅斑	1		気分変化	1
	全身性浮腫	2		咳嗽	1		自発発語の減少	1
	多臓器不全	1		口腔咽頭痛	1	代謝および栄養障害		
	注射部位そう痒感	1		非感染性クールブ	1		食欲減退	1
	注射部位血腫	1		鼻出血	1		低蛋白血症	1
	粘膜出血	1		鼻漏	1	皮膚および皮下組織障害		
	発熱	52		喘息	1		そう痒症	1
	浮腫	1	神経系障害				ヘンホ・シェーンライン紫斑病	2
	歩行障害	1		ギラン・バレー症候群	2		紅斑	2
	無力症	1		ジスキネジー	1		紫斑	1
感染症および寄生虫症				てんかん重積状態	2		多形紅斑	2
	気管支炎	1		意識消失	2		点状出血	2
	手足口病	1		急性散在性脳脊髄炎	11 ^注		膿疱性乾癬	1
	鼻咽頭炎	1		強直性痙攣	1		発疹	3
	副鼻腔炎	1		傾眠	1		皮下出血	1
	無菌性髄膜炎	2		失神	1		蕁麻疹	12
肝胆道系障害				失神寸前の状態	1	免疫系障害		
	肝機能異常	2		小脳性運動失調	3		アナフィラキシーショック	2
眼障害				振戦	1		アナフィラキシー反応	4
	眼瞼浮腫	1		第7脳神経麻痺	1	良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)		
筋骨格系および結合組織障害				頭痛	4		組織球形壊死性リンパ節炎	2
	横紋筋融解症	2		熱性痙攣	17	臨床検査		
	関節痛	2		脳炎	4		血圧低下	1
血液およびリンパ系障害				脳症	5		血小板数減少	2
	血小板減少症	1		浮動性めまい	1		白血球数減少	1
	血小板減少性紫斑病	1		片麻痺	3	副作用症例件数	124	
	特発性血小板減少性紫斑病	2		痙攣	21	副作用件数	237	
	播種性血管内凝固	1						

医薬食品局安全対策課提供資料

薬事法に基づく副作用の報告は、予防接種実施要領に基づく副反応報告と基準が異なり、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上の重篤症例について報告されるが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。また、その後の調査等により報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられる可能性がある。

注：同一症例で2回発現したとして報告されている1症例を含み症例数としては10症例。

6. 脳炎脳症及びADEMの報告頻度

年度	脳炎脳症	うちADEM	被接種者数(回)	脳炎脳症報告頻度	ADEM報告頻度
平成9年	4	3	4,204,981	1,051,245	1,401,660
平成10年	5	4	4,196,384	839,276	1,049,096
平成11年	4	4	4,360,302	1,090,075	1,090,075
平成12年	2	1	4,253,391	2,126,695	4,253,391
平成13年	0	0	4,307,583	0	0
平成14年	0	0	4,311,446	0	0
平成15年	8	6	4,476,121	559,515	746,020
平成16年	5	2	4,132,470	826,494	2,066,235
平成17年	2	1	950,060	475,030	950,060
平成18年	0	0	141,421	0	0
平成19年	0	0	418,812	0	0
平成20年	3	3	666,631	222,210	222,210
平成21年	1※1	1※1	1,526,771	1,526,771	1,526,771
平成22年	3※2	0	4,367,716	1,455,905	0
平成23年	9	7	5,611,321	623,480	801,617
平成24年 (9月末まで)	4※3	2※3	2,945,263	736,315	1,472,631

報告頻度：(被接種者数)／(副反応報告数)

- 副反応報告数は、平成17年1月27日付健康局長通知「定期の予防接種の実施について」に基づく副反応報告により計上
- 平成9年度から平成22年度までの被接種者数は、厚生労働省統計情報部「地域保健事業報告」により計上
- 平成23,24年度の副反応報告数は、現在評価中であり、暫定値である
- 平成23,24年度の被接種者数(回)は、平成22年度の出荷量と被接種者数の比を用いて出荷量から計算した数値

※1 当該症例については、後に健康被害救済審査で否認され、学会にてウイルス性髄膜脳炎であった可能性が高いと報告された。

※2:3症例のうち1例は旧ワクチンによる副反応の報告である

※3: 報告症例のうち1例は前年度に引き続き報告されている(重複報告)

7-1. 新ワクチンの副反応報告に基づく脳炎脳症の報告症例

平成21年度 脳炎脳症1件

	接種日	年齢	ワクチン	診断名	副反応報告書による詳細	備考
1	H21.7	5歳未満	微研JR005	ADEM	接種15日後に発熱、16日後に嘔吐、頭痛、眼球上転、眼振。CT異常なし。髄液細胞数58/mm ³ 。脳波異常なし。接種22日後MRIにてADEMの診断。接種27日後症状軽快にて退院。接種35日後頭部MRI著変なし。接種41日後以降接種100日後まで症状認めず。(先行感染の可能性も否定できない)	その後、疾病・障害認定審査会感染症・予防接種審査分科会により救済認定を否認された。また日本小児科学会雑誌において、「髄液等よりエコーウイルスが分離され、ウイルス性髄膜脳炎であった可能性が高い」との報告がなされている。薬事法上の報告は取り下げられている。

平成22年度 脳炎脳症2件

	接種日	年齢	ワクチン	診断名	副反応報告書による詳細	備考
2	H22.7	5~10歳	微研JR035	急性脳症	接種7日後に一点凝視、意識レベル低下、両下肢のびくつきあり。ダイアップ挿入し、救急搬送。搬送時、発熱、意識障害、右下肢の硬直を認めた。CTでは異常が認められなかったが、脳波異常あり、急性脳症と診断され治療。H23.8 軽快	
3	H22.11	5~10歳	微研JR047	重積型脳炎	接種翌日から40℃前後の発熱がみられ、接種2日後に受診してフロモックス内服。接種4日後に解熱、接種5日後に嘔吐、複雑部分発作を認め救急搬送。同日入院。H23.3 後遺症(てんかん)	

注) 「副反応報告書による詳細」中、転帰に関する記載については、薬事法に基づく報告を含む

7-2.

平成23年度 脳炎脳症9件

	接種日	年齢	ワクチン	診断名	副反応報告書による詳細	備考
4	H23.3	5歳未満	微研JR049	ADEM	接種7日後に発熱あり接種8日後にけいれん発作、発語の低下がみられた。接種10日後から意識障害を認め、MRI撮影後(検査結果未記載)接種12日後にADEMと診断。H23.6 軽快。	
5	H23.3	10～14歳	微研JR053	ADEM	接種約3週間後、易疲労感。接種約4週間後、転びやすい。接種2ヶ月後、下肢の痙性運動障害あり。頭部脊椎MRIにて多発性異常信号認め、ADEMと診断。ステロイドパルスにて徐々に改善するも、易疲労感やつまづきやすい、手に力が入らない症状が残存。H23.12 軽快したが、長期床上生活に伴う廃用性筋萎縮による日常生活動作のしにくさが残存。	平成24年度に報告があった重複症例
6	H23.5	5歳未満	微研JR065	脳症(無菌性急性脳髄膜炎)	I期2回目の接種後2～3時間経過した頃から発熱、頭痛、嘔吐があり再診。対症薬を処方し、帰宅。接種1日後に受診し、血液検査に異常なし。接種2日後も39℃台の発熱が続き、頭痛、嘔吐もみられたため再診し、入院。接種4日後に撮影したMRI、髄液検査で脳炎の所見あり。回復し接種13日後退院。	
7	H23.6	5～10歳	微研JR067	ADEM	接種12日後から発熱等で近医受診。接種38日後に頭痛、足の振るえ、目の斑点あり。接種39日後からものが歪んで見える、虹色に見える等の症状有り、眼科で視神経炎、MRIで皮質下に信号変化が散見され、ADEMと診断されて入院。H23.9 回復。	
8	H23.7	5～10歳	化血E006K	ADEM	接種2日後に39℃台の発熱。翌朝解熱したが、夜間にけいれん発作(意識消失あり)を発症し、救急搬送。抗けいれん剤無効のため入院し、低体温量や、ステロイド療法実施して改善。MRIの所見からADEM疑いと診断。接種31日後のMRIでほぼ正常に改善したため、接種32日後に退院した。H23.8 軽快。	薬事法に基づく報告では「けいれん」とされている。
9	H23.8	5歳未満	微研JR088	ADEM	接種6日後に足底部痛を訴え、接種9日後から発熱。接種23日後から足を引きずっての歩行がみられ、接種29日後から口数が減った。接種31日後から一人で立ち上がることができず、接種33日後には座位の保持不能。不明熱として28日に受診し、同日入院。MRIで白質、小脳、視床に炎症所見があり、経過、検査所見からADEMと診断した。歩行障害、小脳失調、錐体路障害、意識障害があったがステロイドパルスに反応あり、改善傾向にある(入院中)。H23.12 軽快。	
10	H23.8	5～10歳	化血E008K	ADEM	接種17日後に傾眠傾向が出現、接種20日後に頭部CTで右側に低吸収域を認め接種22日後に入院した。入院後の頭部MRIでは右側頭葉等にT2で高信号を認めADEMと診断した。ステロイドパルス療法等で症状改善傾向を認めるも、両下肢疼痛や左上肢の筋力低下があり入院加療中(主治医の観察では後遺症となる可能性が高いと考えられた)H23.10 後遺症(上肢運動障害、筋力低下)あり。	
11	H23.8	5歳未満	微研JR081	脳症	接種12日後に発熱、接種13日後に15分間の持続するけいれんあり。けいれん止めを処方されたが、意識レベルの低下がみられたため、入院となる。MRI及び脳波異常から急性脳症と診断。接種25日後に退院している。H23.9回復	
12	H23.12	5～10歳	化血E014K	ADEM	接種4日後に微熱、左上下肢の間代性けいれん(意識あり)が出現し、救急受診。ダイアアップ挿入するも発作持続したため、再搬送。転送先では、左上下肢のびくつきあり、四肢の動きあまりみられず。頭部MRIでADEMが疑われ、加療中。H24.3 加療中	

注) 「副反応報告書による詳細」中、転帰に関する記載については、薬事法に基づく報告を含む

7-3.

平成24年度 脳炎脳症5例

	接種日	年齢	ワクチン	診断(疑い)	副反応報告書による詳細	備考
13	H23.3	10～14歳	微研 JR053	ADEM	接種約3週間後、易疲労感。接種約4週間後、転びやすい。接種2ヶ月後、下肢の痙性運動障害あり。頭部脊椎MRIにて多発性異常信号認め、ADEMと診断。ステロイドパルスにて徐々に改善するも、易疲労感やつまづきやすい、手に力が入らない症状が残存。接種半年後、再入院。H23.12 軽快したが、長期床上生活に伴う廃用性筋萎縮による日常生活動作のしにくさが残存。	平成23年度に報告があった重複症例
14	H23.10	5～10歳	微研 JR103	脳炎	接種翌日、発熱。接種7日後、けいれん重積。急性脳症にて入院。入院翌日、ICU入室し、全身麻酔管理。重積状態が続くため、約半年間全身麻酔を行った。平成24年5月、入院継続中。一般病棟にてリハビリ中であるが、座位困難、意思疎通困難な状態。H24.5 後遺症(重度心身障害)	
15	H24.3	5～10歳	化血 E019K	ADEM	接種17日後、発熱。その後、発語減少し傾眠傾向。接種22日後、解熱していたものの、項部硬直や髄液細胞数の上昇。脳波で徐波の増加とMRIで右側脳室周囲に高信号域認め、入院。髄液中MBP上昇からADEMと診断。症状軽症のため無治療にて経過観察。入院3日後、項部硬直消失。入院6日後、歩行可能だが左下肢わずかに引きずる。入院10日後、歩行の左右差も消失したため、退院。H24.5 軽快。	
16	H24.7	5～10歳	微研 JR128	急性脳症【死亡】	接種翌日、感冒症状出現。接種2日後、けいれん重積のため近医入院。けいれん群発&SpO2低下のため気管内挿管し、全身管理目的にて前医へ転院。MRIにて急性脳症と診断。多臓器不全となり再度転院。循環作動薬の投与や輸血、CHDFなど施行したが、接種7日後に死亡。死因は急性脳症と考えられる。	
17	H24.10	10～14歳	化血 E030B	脳炎	接種2週間前から頭痛あり。接種翌日から少し元気や食欲がなく、37℃程度の微熱あり。接種7日後、うずくまっているのを発見され、受け答え可、嘔気あり。それから約1時間後、左上肢・両上肢から始まる1-5分のけいれん。1時間の間に3-4回けいれんくり返す。救急外来にて抗痙剤投与にて発作停止。発症後2時間、意識レベルJCS300が続いた。意識回復後、麻痺や局所症状なし。髄液細胞数軽度上昇(60/3)・蛋白正常、MRIにて右後頭部と側頭部にDWIで高信号あり、脳炎と診断。抗痙剤・ステロイド・ACV・抗生剤にて治療開始し軽快傾向。	

注) 「副反応報告書による詳細」中、転帰に関する記載については、薬事法に基づく報告を含む

8. 薬事法に基づく脳炎・脳症・急性散在性脳脊髄炎(ADEM)の報告症例(副反応報告のあった症例を除く)

	接種日	年齢	ワクチン	診断(疑い)	症例票による詳細	備考
18	H23.2	5歳未満	微研JR050	ADEM	接種から約1ヶ月後、38℃台の発熱。9日後、39.1℃の発熱、倦怠感を認める。臥位で意識は傾眠。よびかけには応答。項部硬直あり。髄液検査の結果髄液糖 36mg/dL、タンパク 60mg/dL、単細胞数 77/3/mm ³ で脳脊髄炎と診断。アシクロビル、ステロイドパルス療法開始。Na 124mEq/Lと下がるも以降は改善。H23.5 軽快。	
19	H23.5	5歳未満	微研JR063	ADEM	接種翌日、起床時よりいつもよりハイテンション。夜間にボールを蹴ることのない子、夜間にボールを蹴っていた。接種2日後、出現時と同様の症状であったが、少しましになっていた。接種3日後。いつもの状態に戻っていた。接種8日後、起床時発語なく首を振って合図をしていた。歩行ができずはいはいで移動。両手を使って立ち上がろうとしてもよろつき、結局はいはいで移動していた。約1時間後、「おもちゃを買いに行こうか?」という歩きだす。その数分後には発語、歩行などいつもと同じようになった。H23.5 回復。	
20	H23.10	5~10歳未満	微研JR095	脳炎	接種翌日、発熱、腹痛、嘔吐が出現し、2日後腸炎の疑いで入院。細菌性髄膜炎疑いとして抗生物質、ステロイド加療開始。3日後、頭部MRI検査を実施したが、明らかな異常所見は認められなかったが、脳炎脳症疑いとしてステロイドパルス療法開始。4日後、意識明瞭となり、明らかな神経学的異常所見がみとめられない。11日後、退院。H23.12 回復	
21	H24.3	15~20歳未満	微研	脳炎	接種10日後、発熱。13日後、全身性の麻痺が発現し救急搬送。脳MRIを行ったが、ヘルペス脳炎やADEMに特異的な所見は認められず。1月後、退院。 H24.5 後遺症(てんかん発作、記憶力低下、学習障害)	
22	H24.6	5歳未満	化血E025K	ADEM	接種約2週間から20日後(詳細不明)に発熱で一度入院。接種30日後、一時退院後、再熱発で再度入院。ADEMが発現。H24.9 未回復。	

9. 新ワクチンでのADEM報告頻度

(副反応報告と薬事法に基づく報告の合計)

(平成21年6月～平成24年9月)

	報告数	接種回数	報告頻度
平成21年度	0	1,526,771	0
平成22年度	3	4,367,716	146万回接種に1例
平成23年度	7	5,611,321 (推定)	80万回接種に1例
平成24年度 (9月末)	1	2,945,263 (推定)	295万回接種に1例
合計	11	14,451,071 (推定)	131万回接種に1例
備考	<ul style="list-style-type: none">副反応報告と薬事法に基づく報告を併せた数接種日を基準に分類重複例、取り下げ例を除く	<ul style="list-style-type: none">平成21年度は旧ワクチンの実績 (2ヶ月分) を含む。平成23年度及び平成24年度 (9月末まで) は、平成22年度の出荷量と被接種者数の比を用いて計算した数値。	

(参考)旧ワクチンでのADEM報告頻度: 70万から200万回接種に1例程度